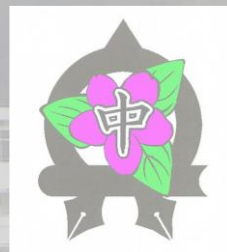


# 協働



## ファーストペンギン

校長 西村 元一

あけましておめでとうございます。旧年中は本校の教育に御理解と御協力を賜り、ありがとうございました。今年もよろしくお願いします。

さて、今年も生徒の皆さんには、様々なことに挑戦して成長につなげてほしいと思います。その際に他者の様子をうかがったり誰かに促されたりして始めるのではなく、主体的に決断して挑戦してほしいと思います。ペンギンを例にお話します。

ペンギンは常に集団で行動しますが、群れを統率するリーダーはいないそうです。よくテレビなどで、氷上をペンギンたちが隊列を組んで移動する姿が映し出されます。なぜあのような行動がとれるのかというと、最初の1羽が行動を起こしたときに、皆がその1羽に従う習性があるからだそうです。例えば、群れに危険が迫った場合、いち早く察知した1羽が行動を起こすと、他のペンギンはその後に続くことで、一緒に難を逃れるといった具合です。強いリーダーではなく、“最初の1羽”に従うのが彼らの集団行動の特徴だそうです。

エサをとるために海に入る場合も同様です。最初の1羽が飛び込むまで、群れの中のペンギンはお互いに牽制し合うような仕草を見せ、決して各々勝手に飛び込もうとしません。最初の1羽が海に入ると他のペンギンも一斉に海に飛び込みます。このファーストペンギンには、勇気が必要です。海の中にはペンギンの天敵であるシャチやトド、オットセイなどが待ち受けているかもしれません。危険を顧みず、真っ先に飛び込んだペンギンは、身をもってその海が安全であると仲間に伝えているのです。しかし、この最初の1羽には、リスクばかりがあるわけではありません。群れの仲間に先んずる分、より多くのエサにありつけます。時間とともにエサも減っていきます。そこで、1羽が飛び込み安全を確認すると、他のペンギンも先を競って一斉に海に入っていくわけです。

生徒の皆さんが何かに取り組むときにも、ぜひ主体的に決断してチャレンジしてほしいと思います。スポーツを例にすると、コーチから促されて行う取組と主体的に考え決断して行う取組では差が出ます。うまくいかなかったときに、前者はコーチのせいにしてしまうかもしれませんが、後者は誰のせいにもできません。自分で責任を取る覚悟をもって決断し、取り組まなければならないのです。自ずとその取組に対する真剣さも違ってくるはずです。

生徒の皆さんが、ファーストペンギンの精神で、自分の意志で主体的に決断し、挑戦し、成長していってくれることを期待してやみません。